

# Git講習②

2019年08月27日(火)  
m17saitou

# 内容

- 前回の復習
- Gitのブランチとは
- Gitで管理してみよう

# 前回の内容復習

- 右側に前回の資料をテキストに書き起こしたもののQRコードを載せておきます.
- 前回は
  - ・Gitとは何なのか
  - ・Gitの仕組み
  - ・Gitの導入方法についてやりました.



# 前回の復習

- Gitとは

分散型バージョン管理システムの一つ

※分散型:それぞれが各自で保持して共有できないローカル管理と, サーバーによって一元管理する集中型を組み合わせたような方式

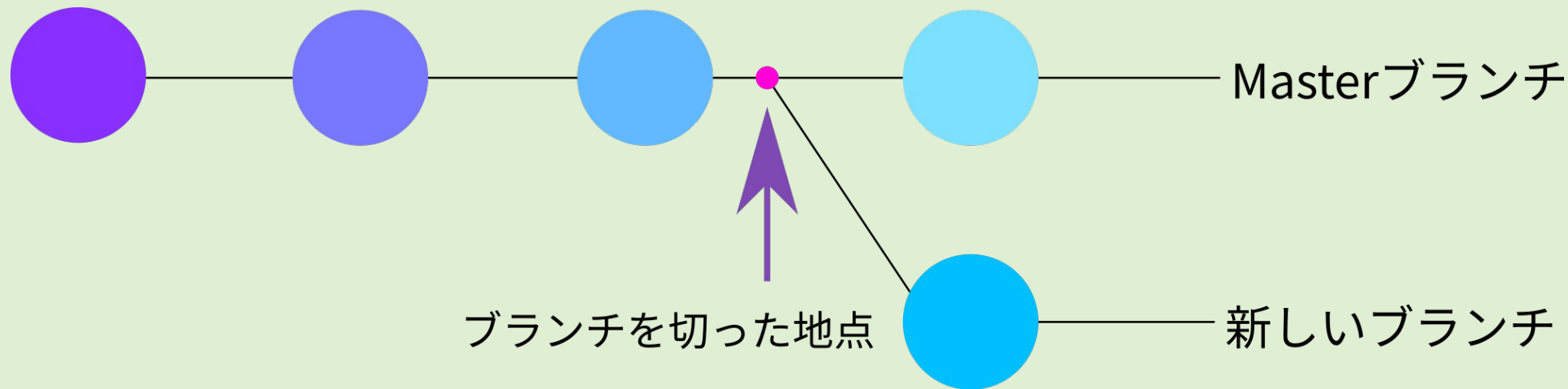
※バージョン管理システム: あるファイルやディレクトリの状態を時間の経過とともに記録していくシステム

- Gitの管理方式

編集した部分を記録するのではなく, 編集後のファイルの状態を記録していく.

# ブランチ機能とは

- ブランチ=枝
- 枝分けするようにコミットの流れを作ることができる



# ブランチを使うと

- Masterブランチ(最初に自動で作られるブランチ)とは別に続きから作業ができる
- 切ったブランチを消しても, Masterには影響を与えない
- ブランチのマージ(ブランチの中での変更を別のブランチに反映させることができる)
- 機能ごとにブランチを分けることができる.

# Gitを使い始めてみよう!

- 実際に手を動かしてGitを使ってみましょう.

# コマンドでの作業の流れ

- 最初のコミット
- Windowsでもできるはず.

```
saito@Kasagon-Ubuntu1804: ~/GitExample
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 検索(S) 端末(T) ヘルプ(H)
saito@Kasagon-Ubuntu1804:~$ mkdir GitExample ←ディレクトリを作らせる命令
saito@Kasagon-Ubuntu1804:~$ cd GitExample/ ←作業するディレクトリを移動する命令
saito@Kasagon-Ubuntu1804:~/GitExample$ git init ←ここでGitを使い始めますというコマンド
Initialized empty Git repository in /home/saito/GitExample/.git/
saito@Kasagon-Ubuntu1804:~/GitExample$ git status ←いま、Gitがどんな状態なのか確認するコマンド
 ブランチ master どのブランチにいるのか

No commits yet

nothing to commit (create/copy files and use "git add" to track)
saito@Kasagon-Ubuntu1804:~/GitExample$ echo "Git start" > newfile.txt ←newfile.txtというファイルを作り、
saito@Kasagon-Ubuntu1804:~/GitExample$ git status ファイルに"Git start"と書き加えます
 ブランチ master

No commits yet

追跡されていないファイル:
 (use "git add <file>..." to include in what will be committed)

    newfile.txt

nothing added to commit but untracked files present (use "git add" to track)
saito@Kasagon-Ubuntu1804:~/GitExample$ git add newfile.txt ←ステージングエリアに newfile.txtを追加するコマンド
saito@Kasagon-Ubuntu1804:~/GitExample$ git status
 ブランチ master

No commits yet

コミット予定の変更点:
 (use "git rm --cached <file>..." to unstage)

    new file:   newfile.txt

saito@Kasagon-Ubuntu1804:~/GitExample$ git commit -m "Add:Create newfile.txt"
[master (root-commit) 021688e] Add:Create newfile.txt
 1 file changed, 1 insertion(+)
 create mode 100644 newfile.txt
saito@Kasagon-Ubuntu1804:~/GitExample$ git status
 ブランチ master
nothing to commit, working tree clean
saito@Kasagon-Ubuntu1804:~/GitExample$
```



# Git(とターミナル)で使うコマンド①

- `$ mkdir ...`新しいディレクトリを今のディレクトリの中に作るコマンド
- `$ cd ...`ディレクトリを移動する時に使うコマンド
- `$ git init ...`Gitとして使い始める(初期化)コマンド
- `$ git status ...`Gitの現在の状況を教えてくれるコマンド
- `$ echo "内容" > example.txt ...`”の中をテキストファイルに書き込む(指定されたファイルがない場合は新しく作られる)
- `$ git add <ステージングするファイル> ...`指定されたファイルをステージングエリアに追加するコマンド
- `$ git commit -m "message" ...`”の中をコミットメッセージとして, ステージングされているものをコミットするコマンド.

# まとめ

- ブランチ機能という便利な機能がある
- Gitのコマンドはいろいろある.